

## 8-4-29 参加型計画専門委員会

### 1. 主な活動の記録

本専門委員会は、公共事業における市民参加のあり方と建設コンサルタントの対応検討を目的として、平成17年より活動をしている。

#### (1) 委員会の開催

令和5年度の活動は、専門委員会を10回開催、講習会1回、勉強会3回開催した。主な活動は、下表の通りである。

表1 専門委員会の開催と主要活動状況

回数	日付	活動項目
1	4/18	年度計画の設定とWG取組方針
2	5/23	勉強会・講習会の開催方針
3	6/23	勉強会・事例調査の内容確認
4	7/11	ICT勉強会の実施計画等
5	8/8	10月勉強会の実施計画
6	9/6	講習会の実施内容の検討
-	9/12	ICTツールに関する勉強会
7	10/3	講習会の実施計画の検討
-	10/20	現地視察勉強会（山古志DAO）
8	11/21	講習会及び勉強会内容の確認
-	11/28	成果連動型まちづくり勉強会
9	12/7	勉強会報告・講習会資料確認
10	1/16	講習会の最終確認
-	1/16	専門委員会講習会の開催
-	3/1	幹事会：次年度の活動について

#### (2) 活動概要

多様化する社会変化に対応する市民参加型計画の対応を検討するため、ICTツールの活用可能性検討、DAO（分散型自立組織）※を活用したまちづくり事例調査、成果連動型まちづくりの取り組み等の事例勉強会を開催し、それらの成果をとりまとめて講習会を開催した。また、ホームページを活用した広報活動を実施し、講習会開催告知や関連情報の発信などを行った。

ホームページ閲覧者は66,000ビューを越えた。

勉強会、講習会等の個別活動内容は、以下の通りである。

a) ICTによる参加型手法の適用可能性に関する勉強会(9月)

東健二郎氏(Cade for JAPAN)に、委員会でも検討した各種参加型ICTツールの洗い出しとその適用可能性の検討についてのレビューやアドバイスを受け、参加型計画における活用可能性について意見交換を行った。

b) 新たな地域づくりの参加型手法に関する勉強会(10月)

DAOによる新たな参加型手法の事例収集を目的として、長岡市山古志地域の事例視察と意見交換を兼ねた勉強会を行った。

c) 成果連動型まちづくり勉強会(11月)

塚本一郎氏(明治大学教授)に、SIB等の成果連動型まちづくりと参加型計画についてアドバイスを受け、建コンとしての活用可能性について、意見交換を行った。

d) 参加型計画専門委員会講習会(1月)

上記の勉強会の成果をとりまとめ、委員会からの研究報告として、ICTツール等の活用事例や、DAOを活用した新たな参加手法の事例を紹介した。また、塚本一郎氏(明治大学教授)を講師として招き、c)に関連した講演をいただくとともに、参加型計画の今後展開、建設コンに求められる技術と役割について、意見交換を行った。Web併用の開催で約100名が参加した。  
※DAOとは、特定の管理者が存在せず、ブロックチェーンを活用しながら参加者同士の投票で意思決定し、事業やプロジェクトを推進する組織などを意味する。

### 2. 次年度の活動について

新たな都市・地域づくりにおける参加のあり方や、建設コンサルタントの役割、対応すべき参加型技術や連携技術等について、外部との勉強会も開催しながら検討する予定である。

(参加型計画専門委員会委員長 伊藤 将司)